

カキ生育情報

第 5 号
千葉県農林水産部
令和 4 年 9 月号

8月下旬は気温がやや低く、日照時間も短かったため、「松本早生富有」及び「富有」は果実の生育が平年より遅れています。しかし、「西村早生」は着色が平年より早くなっています。収穫はへた部の着色程度で判断します。早生品種は果頂部とへた部の着色に差が生じやすいので注意しましょう。

1 令和4年8月の気象

令和4年8月の半旬別の気象を表1に示した。平均気温は第6半旬を除く全ての半旬で平年より高かった。月平均気温は26.3℃で、平年より0.3℃高かったが、前年より0.1℃低かった。

降水量は第3半旬を除く全ての半旬で平年より少なく、第2及び第5半旬は降雨がなかった。月合計は94mmで、平年の85%、前年の45%であった。

日照時間は第5及び第6半旬を除く全ての半旬で平年より多かった。月合計は206時間で、平年の94%、前年の104%であった。

今年の梅雨明け変更のお知らせ。

気象庁は1日に今年の梅雨入り、梅雨明け時期の確定値を発表した。関東地方の梅雨入りは変わらず(6月6日)、梅雨明けは26日遅くなり7月23日で、平年より4日遅いことになった。令和4年7月号の梅雨明けを訂正する。

表1 令和4年8月の気象 (暖地園芸研究所)

半旬	気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(時間)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	26.7	26.2	27.1	5	6	0	37	37	49
2	27.1	26.3	26.8	0	19	116	49	37	31
3	26.9	26.3	24.7	62	19	63	38	36	9
4	26.2	26.0	25.1	13	20	32	36	35	35
5	26.2	26.0	26.6	0	20	0	20	34	24
6	25.1	25.5	27.6	15	27	0	26	38	52
平均/計	26.3	26.0	26.4	94	110	210	206	218	198

平年値:2021年5月より、気象庁の方法と同じく1991~2020年の30年間の平均値

2 9~10月の作業

1) 収穫

「西村早生」の収穫が始まり、いよいよ収穫シーズンの到来である。カキの果実は樹上で成熟しながら大きくなり、収穫後に品質が向上することはない。早採りすれば、大きさ、品質の面で適熟の果実より劣り、消費者にカキ本来の味を提供できなくなる。したがって、早採りは避け、収穫前にはカラーチャートで色を確認し、適熟果の収穫に努める。適熟の色はへた部の果皮色で判断し、「西村早生」、「富有」はへた部4、「松本早生富有」はへた部4.5を目安にする。「西村早生」では、渋果の混入を防ぐため、渋果判定機による選別を行う。

2) 追肥

貯蔵養分の多少は、翌年の樹の初期生育と着花量を左右する。貯蔵養分を蓄積させるため、礼肥を施す。「西村早生」などの早生品種では収穫直後の10月中旬頃、「松本早生富

有」、「富有」及び「次郎」などの中晩生品種では着色初期となる10月中下旬頃を目安に、速効性肥料を施用する。施肥量は窒素分量で、年間施肥量の15%程度となる2～3kg/10aが適当である。

3) 病虫害防除

9月上旬～中旬にカキノヘタムシガ、コナカイガラムシ類を防除するため、バンド誘殺を行う。カキノヘタムシガの被害果は地中に埋没する。カメムシ類の発生は8月17日発行の病虫害発生予報第5号によるとやや多となっている。今後の最新情報を参考にカメムシ類の多い場合は薬剤散布を行う。炭疽病又はうどんこ病の発生が多い園では、9月下旬までが防除適期である。防除の際には、早生品種と中晩生品種の混植園では収穫前使用日数に十分注意する。これらの防除は、千葉県農作物病虫害雑草防除指針に基づいて行う。

3 樹及び果実の生育

8月30日現在のカキの果径を表2に示した。横径は「西村早生」、「松本早生富有」が2地区の平均でみるとそれぞれ6.26cm、6.16cm、「富有」が6.03cmであった。本年の横径は「西村早生」が平年の100%、前年の95%であった。「松本早生富有」が平年の99%、前年の101%「富有」が平年の94%、前年の96%であった。

縦径は「西村早生」、「松本早生富有」が2地区の平均でみるとそれぞれ4.74cm、4.37cm、「富有」が4.49cmであった。本年の縦径は「西村早生」が平年の102%、前年の98%であった。「松本早生富有」が平年の96%、前年の99%であった。「富有」は平年91%、前年の96%であった。

果形指数は「西村早生」、「松本早生富有」が2地区の平均でみるとそれぞれ1.33、1.41、「富有」が1.34であった。本年の果形指数は「松本早生富有」及び「富有」が平年より大きく、横長の傾向であった。

8月下旬の低温や日照不足によって、「松本早生富有」及び「富有」の果実肥大は現時点で平年より遅れている。また、「西村早生」は着色の進みが平年より早い。暖地園研では炭疽病の発生が、いすみ市では日焼け果の発生がみられる。

表2 果実の生育（8月30日の果径）

品 種	調査地	横 径(cm)			縦 径(cm)			果形指数		
		本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
西 村 早 生	いすみ市	6.37	6.20	6.46	4.95	4.62	4.85	1.29	1.34	1.33
	暖地園研	6.14	6.33	6.71	4.53	4.63	4.84	1.36	1.37	1.39
	平 均	6.26	6.27	6.59	4.74	4.63	4.85	1.33	1.36	1.36
松本早生富有	市 原 市	6.13	6.06	6.01	4.29	4.41	4.31	1.43	1.38	1.39
	暖地園研	6.18	6.34	6.16	4.44	4.69	4.50	1.39	1.35	1.37
	平 均	6.16	6.20	6.09	4.37	4.55	4.41	1.41	1.37	1.38
富 有	暖地園研	6.03	6.43	6.28	4.49	4.91	4.66	1.34	1.31	1.35

市原市の「松本早生富有」の調査：9月5日

果形指数：横径/縦径

平年：暖地園研は1990年～2021年、いすみ市は1998年～2021年、市原市は1999年～2021年の平均

なお、表の数値は、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

【生育情報の問合せ先：千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室 電話0470-22-2961】

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。